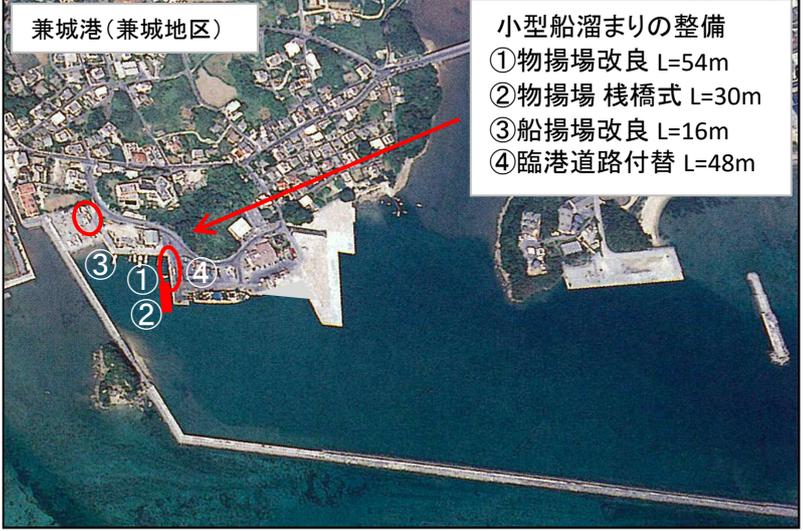


公共事業事前評価調書(令和3年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	兼城港(兼城地区)港湾改修事業		事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	久米島町字兼城地先					
事業の諸元	①物揚場(-2.0m)整備 L=54m、②物揚場(-2.0m)栈橋式整備 L=30m ③船揚場改良 L=16m、④臨港道路付替 L=48m					
事業の概要	<p>兼城港(兼城地区)は沖縄本島の西約100kmにある久米島の南西側に位置し、那覇港(泊埠頭)との間に定期貨客船が1日2往復就航しているほか、不定期船や地元の小型船等が利用している。</p> <p>本港は1,260mの防波堤に囲まれ静穏性が高いことから、久米島の南側における漁船、遊漁船の拠点港としての利用も多いが、近年船舶の大型化や利用者の増加により係留施設が不足していることから、小型船溜まりの整備(物揚場の整備と船揚場の改良等)を行う。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》 当該小型船溜まりは漁船、遊漁船等の小型船の拠点として利用されている。近年の船舶大型化や水産物鮮度保持施設(冷凍倉庫・製氷施設)が平成27年に整備されたことによる利用者の増加により、既存物揚場が不足し、接岸のために滞船している状況もみられることから係留施設を整備する必要がある。 また、利用者の増加に伴い既設船揚場も過密状態で、船置場も不足している状況より、船揚場を改良整備する必要がある。</p> <p>《効果》 小型船溜まりの整備を行うことで、船舶が安全で効率的に係留することができるとともに、港湾利用者の安全な航行環境を確保する。また、港湾施設利用の利便性の向上を図ることで小型船の利用を促進し、地域振興に寄与する。</p>					
事業期間	事業採択	令和3年度		完了(予定)	令和6年度	
全体事業費	4.0	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C	総便益:B	4.1	(億円)	総費用:C	3.3
	= 1.23	護岸係留に伴う係留時間削減便益等(割引後):	4.1億円	総事業費+維持管理費(割引後)	3.3億円	基準年 令和 2年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「基本施策3-(11)離島における定住条件の整備—ウ交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化」に位置付けがある。					
環境への配慮	施工時には、環境への影響を最小限にするよう配慮する。					
関係する地方公共団体等の意見	久米島町から整備に関する要望がある。					
概要図(位置図)			 <p>兼城港(兼城地区)</p> <p>小型船溜まりの整備 ①物揚場改良 L=54m ②物揚場 栈橋式 L=30m ③船揚場改良 L=16m ④臨港道路付替 L=48m</p>			